

令和2年度国債発行予定額

＜発行根拠法別発行額＞

（単位：億円）

区 分	当初 (a)	2次補正後 (b)	3次補正後		
			(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
新規国債	325,562	901,589	1,125,539	799,977	223,950
建設国債	71,100	187,380	225,960	154,860	38,580
特例国債	254,462	714,209	899,579	645,117	185,370
復興債	9,241	9,241	7,824	▲ 1,417	▲ 1,417
財投債	120,000	542,000	407,000	287,000	▲ 135,000
借換債	1,079,818	1,079,818	1,090,292	10,474	10,474
うち復興債分	16,932	16,932	27,254	10,323	10,323
国債発行総額	1,534,621	2,532,648	2,630,655	1,096,034	98,007

＜消化方式別発行額＞

（単位：億円）

区 分	当初 (a)	2次補正後 (b)	3次補正後		
			(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
カレンダーベース 市中発行額	1,288,000	2,123,000	2,123,000	835,000	—
第Ⅱ非価格 競争入札等	79,884	100,620	77,380	▲ 2,504	▲ 23,240
年度間調整分	96,737	239,028	376,275	279,538	137,247
市中発行分 計	1,464,621	2,462,648	2,576,655	1,112,034	114,007
個人向け販売分	48,000	48,000	32,000	▲ 16,000	▲ 16,000
公的部門（日銀乗換）	22,000	22,000	22,000	—	—
合 計	1,534,621	2,532,648	2,630,655	1,096,034	98,007

※1 令和2年度の市中からの買入消却については、市場の状況や市場参加者との意見交換も踏まえ、必要に応じて実施する。

※2 令和2年度における前倒債の発行限度額は43兆円。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額（額面）の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格等を発行価格とする、価格競争入札等の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう（価格競争入札等における各国債市場特別参加者の落札額の10%を上限）。令和2年度当初及び2次補正後の第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債（40年債、30年債、20年債、10年債、5年債及び2年債）のカレンダーベース市中発行額の7%を計上している（応募上限額の引下げによる影響を反映した上で計上）。令和2年度3次補正後は実績を反映した上で5.5%を計上している。

第Ⅱ非価格競争入札等として、第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額のほか、カレンダーベース市中発行額と実際の発行収入金との差額の見込みを計上している。

(注4) 年度間調整分とは、前倒債の発行や出納整理期間発行を通じた、前年度及び後年度との調整分をいう。